

今回
学ぶこと

B-20

第2回では、生物が土を形成し、その土によって地球上の生命がはぐくまれて
いることを学びましたが、19世紀以降、土に限らず水や大気といった地球環境
が大きく変化し、このまま見過ごすわけにはいかない状況です。後世に、美しい
地球環境を残すために、今、私たちにできることは何か？ 一緒に考えましょう。

●今回の学習と深く関連する放送回●

第2回:B-01 生命が土を創り、土が生命をはぐくむ
第38回:B-19 大切な生態系の見方

ポイント ① 変化する自然 過去から学ぼう！ 自然との共生

- ① 現在のような環境破壊が始まったのは、産業革命以降の化石燃料の消費からといわ
れている。19世紀以前の人間生活はどのようなものだったのか？
- ① 江戸時代の無駄の少ない物質循環型社会から学ぶことがたくさんある。
- ① 自給自足の生活とは？ 現在の高校生活は維持できるか。
- ② 自給自足の生活には、どの程度の耕地が必要か？

ポイント ② 身近な自然 森から学ぼう！ 水と土の大切さ

- ① 里山では、ヒトが手を加えることでヒトとの共生関係を保っていた。
- ① 自然の森には、土が香り、水が絶えることはない。そのしくみは？
- ① 森が海を守るってどういうこと？ 森と海には深い関係がある。
- ② 森の土は、どんな香りがする？

ポイント ③ あしたの自然 考えよう！ 私たちが今できること

- ① 明日の自然を守るために、世界・日本・社会の試みとは？
- ① 私たち高校生が実践できる環境保全への取り組みがあるだろうか？
- ② 100年後、地球環境はどうなっているか？